

やまびこ

第23号

発行
 公益社団法人和歌山県青少年育成協会
 〒640-8319
 和歌山県和歌山市手平 2-1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9階
 TEL:073-435-5236 FAX:073-435-5238
<http://wpyda.org/>



国内研修

日程：平成26年7月27日～29日

参加人数：24名

(少年メッセージ2014和歌山県大会発表者
 及び奨励賞受賞者)

「少年メッセージ2014」和歌山県大会における発表者
 及び奨励賞受賞者を対象に国内研修を開催。

平成26年度は比叡山延暦寺(滋賀県)に参拝後、京
 都市市民防災センターで体験学習等を行いました。

「少年メッセージ2014」和歌山県大会

第36回「少年メッセージ2014」 和歌山県大会

開催日：平成26年7月26日(土)
場 所：日高川交流センター
(発表者数) 18名
(観客数) 約270名



望月 春菜



仲 夢仁



花田 莉音



大樫 もも



尾上 幸平



「少年メッセージ2014」和歌山県大会
主催 公益社団法人 和歌山県青少年育成協会



開会のあいさつ



廣橋 尚依



石井 暖乃



あすなろ倶楽部 「絆の星」



前田 菜々花



伊藤 美空



玉置 愛永



森 楓



森下 真悠子



佐古 貴紀



岡本 七海



野上 一紀



太田 和希



秦 侑紀奈



佐田 雪美



和歌山県大会レポート

県内8地方から11、598名の応募を頂き、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、特別賞2名、入賞10名、奨励賞24名の作品が表彰されました。

内容は、自分の生き方や将来の夢、地域社会についてなど様々。いずれの発表も堂々とした態度で一生懸命さが伝わってきて、会場にいる誰もが感動したのではないかと思います。

今さらながら、子どもたちのパワーに圧倒されました。

今回、金賞を受賞したのは、和歌山県立日高高等学校附属中学校3年、望月春菜さん。

「夢へつながる虹の架け橋」というタイトルで、国際交流・相互理解を主題とし、世界的視野のスケールの大きな主張でした。

今後中学生たちの素晴らしいメッセージが届けられるのが楽しみです。

次回「少年メッセージ2015」和歌山県大会告知

平成27年度は7月25日(土)「紀美野町文化センター」で開催します。
お問い合わせは、公益社団法人和歌山県青少年育成協会 (☎ 073-435-5236) まで

子ども達が主役となる少年メッセージは、多くの方の協力と支援で成り立っています。

「少年メッセージ2014」和歌山県大会



和歌山県立
日高高等学校附属中学校3年生
望月 春菜

『夢へつながる虹の架け橋』

望月 春菜

「虹の国をつくろう」これは、南アフリカのネルソン・マンデラ元大統領が就任演説で国民に語りかけた言葉です。対立を抱える国民の相互理解への願いが「虹」という言葉に込められています。

中学生になるまでの私は、あまり外国の人と接する機会がなく、自分から積極的に話しかけようとも思っていないませんでした。しかし、中学校に入学し、そんな私の考えは変わっていきました。

私の通っている学校は国際交流が盛んで、デンマークや中国の高校と姉妹校提携を結んでいます。昨年、台湾の生徒と交流をしました。私の発音が悪かったのか、言葉がなかなか伝わらなくて友達に助けてもらいました。それから、話しても伝わらないのではという不安が募り、会話も途切れがちになったことを覚えています。

中学3年生になり、もう一度台湾の生徒と交流する機会がありました。中2での失敗を踏まえ、事前学習を頑張りました。また失敗するのでは、という不安や緊張は、彼らの温かい雰囲気と接するうちに消えていきました。彼らは、アニメや映画のキャラクターをたくさん知っていて、話題に困ることはありませんでした。中2の時は友達を頼って逃げた私が「もっと話したい」と思うようになりました。その反面、日本についても伝えられればよかったのでは、という後悔も残りました。

最近、日本と中国の関係についてテレビや新聞でよく報じられています。そんな時、中国の留学生、孫益民君と話をする機会がありました。私は、思い切って孫君に「今の日中関係をどう思いますか。」と尋ねると、彼はこう答えました。「僕は日本人達と友好的に付き合いたいんだ。」と。この言葉を聞いて、私の考えていたことと同じだと知り、うれしくなりました。国の立場や文化は異なっていますが、人と人とは理解し合えることを実感し、彼をより身近な存在に感じました。

将来、私達はアジアの国々を始め、多くの国とよりよい関係を築いていかなければなりません。台湾の生徒や中国の留学生孫君との出会いは、国際社会の一員として広い視野を持って行動できるための大切な二つのことを教えてくれたように思います。

一つは、自国日本のことを自信を持つ

て語れるようにすることだと考えます。以前、学校でエリア事務総長の西村さんによる講演会がありました。エリアとはアセアンに関係した研究機関です。「自分の国の文化や伝統について誇りを持って伝えられる人こそ尊敬されるのです。」こう語った西村さんの言葉が強く心に残っています。

二つ目に、「違うけれど同じ」を体験や交流を通して実感し、外国の人と友達になることだと考えます。グローバル化には、英語の習得が欠かせませんが、それだけではありません。まず、相手の立場を尊重し、互いを思いやる心を持つことがグローバル化への第一歩なのではないでしょうか。

来月、中国の姉妹校から留学生が来校し、交流授業が行われます。私達はそのために「日本文化を伝えよう」という目標を立て準備を進めています。私は「和食の文化」について伝えるために学習をしています。改めて学ぼうちに和食の奥深さを知り、伝えたいことが広がってきました。

これまでの私は、未知のことに大きな不安を抱き消極的になっていましたが、「違うことが楽しい」と知り、興味や関心の方が大きいものとなりました。これから、もっと新しいことに挑戦していきます。そして、いろいろな違いを知り、多くの人とつながりたいと思います。いつか日本と外国を虹の架け橋でつなぐことが、私の夢です。

◎入賞者一覧

金賞	夢へつながる虹の架け橋	和歌山県立日高高等学校附属中学校3年
銀賞	「母との約束」	和歌山県立向陽中学校2年
銀賞	アンバランス・バイク	新宮市立熊野川中学校3年
銅賞	命を救いたい —国境を越える思い—	紀の川市立粉河中学校1年
銅賞	The most important thing I want	印南町立清流中学校3年
銅賞	心を磨くこと(剣の心)	日高川町立早蘇中学校3年
特別賞	弟が気付かせてくれたこと	紀美野町立長谷毛原中学校3年
特別賞	「あなたがいてくれたから」	和歌山県立向陽中学校2年

入賞

私の夢	高野町立高野山中学校3年	伊藤 美空
最後に学んだもの	有田市立箕島中学校3年	秦 侑紀
地域の人たちに支えられて「生きる」ということ	上富田町立上富田中学校3年	佐田 雪美
受けつぐ	かつらぎ町立笠田中学校3年	玉置 愛永
夢	日高川町立中津中学校2年	森 楓
鉄道に乗って地球を守ろう	紀美野町立美里中学校2年	森下 真悠子
私を変えた言葉	岩出市立岩出第二中学校3年	佐古 貴紀
受け継ぐこと 伝えること ~「野中の獅子舞」を通して考える~	太地町立太地中学校3年	岡本 七海
言葉の大切さ	田辺市立近野中学校2年	野上 一紀
	湯浅町立湯浅中学校2年	太田 和希

平成26年度家庭の日啓発促進事業「家庭の日絵画コンクール」

平成26年度「家庭の日」推進事業 絵画 優秀作品

今年も温もりや優しさがいっぱい感じられる作品が勢ぞろい

和歌山県では、「ふれあいとやすらぎのある家庭づくり」を推進することを目的に、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動を行っています。



●ファミリー賞
「わたしのかぞく」
北谷 香百 (和歌山市立広瀬小学校1年)



●ふれあい賞
「楽しいばんごはん」
福永 彩実 (有田市立港小学校4年)



●ふれあい賞
「家族風呂」中垣内 和佳
(橋本市立隅田中学校2年)



●やすらぎ賞
「家族団らん」山上 椎奈
(和歌山県立和歌山北高等学校2年)

毎月第3日曜日は家庭の日

「家族そろって新入生」

小学校に入学する直前のお子さんのいるご家庭にお配りしているリーフレット。

和歌山大学、米澤好史教授や信愛女子短期大学、室みどり教授、その他経験豊かな編集委員の先生にご協力いただき9回目となりました。「保護者の方も、不安になることなく子どもと一緒に新しい環境へ踏み出せるように」という熱い想いが込められています。



平成26年度リレー式次世代健全育成事業「こどもリーダー養成研修」

地域の大人、青年が一体になって青少年の健全育成に取り組む体制づくりを働きかけるとともに、地域の青少年が青少年を育てていく環境づくりを推進するため「こどもリーダー養成研修」では地域の核となる、こどもリーダーを養成し、地域活動を活性化させるため下記のとおり実施しました。

和歌山県立紀北青少年の家



前期：平成26年8月25日(月)～27日(水)

(小学生の部：54名 中学生の部：28名)

後期：平成27年1月10日(土)～12日(月)

(小学生の部：28名 中学生の部：10名)

小学生の部では、野外炊事・ゲーム大会・SNS講習・クラフト・グループワークなどを通じ、参加者の交流を図りました。

中学生の部では、野外炊事と指導方法・SNS講習・道徳講話・クラフトの指導方法を学びました。



和歌山県立白崎青少年の家



後期：平成27年3月28日(土)～30日(月)

(小学生の部：75名 中学生の部：24名)

※前期は台風接近のため中止

小学生の部では、野外炊事・キャンドルファイヤー・危険予知トレーニング・クラフト・フィールドサーチ・防災講習などを行いました。

中学生の部では、野外炊事と指導方法・キャンドルファイヤーと指導方法・SNS講習・防災講習などを学びました。



和歌山県立潮岬青少年の家



前期：平成26年8月22日(金)～24日(日)

(小学生の部：20名 中学生の部：7名)

後期：平成26年12月26日(金)～28日(日)

(小学生の部：14名 中学生の部：1名)

小学生の部では、野外炊事・キャンドルファイヤー・SNS講習・クラフト・星空講習・グループワークなどを行いました。

中学生の部では、野外炊事と指導方法など、キャンドルファイヤーと指導方法、SNS講習・道徳講話・グループワークと指導方法を学びました。



平成26年度 市町村議会等支援事業

各地域における元気な活動をサポートしています。

地域に根付いた団体にしかできない取り組みを

子どもリーダー養成事業

主催者：岩出市青少年育成市民会議
開催日：平成26年8月9日(土)
開催場所：紀の里農業協同組合 岩出支所



各地区育成会の子もたちが、共同作業やレクリエーションを通じて、地域の人たちと交流することで、市内の活性化を図り、活動の核となるリーダー養成を目的に実施しました。
約100名の参加者があり、カレー作りや花の苗植えなどをし、大変有意義な事業でした。

川崎市訪問ふれあい交流事業

主催者：古座川町青少年育成町民会議
開催日：平成26年8月26日(火)～8月28日(木)
開催場所：神奈川県川崎市



古座川町児童が、政令都市川崎市を訪問し、コミュニケーション能力や協調性を育み、郷土を愛し守り、育てる意欲や態度の育成を図ることを目的に、交流会を実施しました。

東芝科学博物館や、岡本太郎美術館の見学、青少年の家でのキャンドルファイヤーなどを体験し、子どもたちには強い絆ができ、大変実り多い事業でした。



平成26年度 子ども・若者育成支援県民大会

～つなげよう 次世代へ育成の力を～



平成26年10月18日(土) 海南市民交流センターにおいて、子ども若者・育成支援強調月間の一環として、次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、心身共に健やかに成長することを願うと共に、大人たちも社会における役割と責任を認識する機会として開催しました。

塩津のいな踊りや、海南下津高校ダンス部のエネルギッシュなパフォーマンスの後、「つなげよう、次世代へ育成の力を」と題し、各地域で子どもの育成に取り組んでいる Jr. リーダーや青年団がそれぞれの取り組みについて発表しました。

約600名の参加があり、我がふるさとの未来を担う子ども若者を地域で育てる仕組みづくりについて等を、皆さまに考えて頂くきっかけとしました。



県民大会では各種表彰も行いました

感謝状及び表彰関係(敬称略・順不同)

知事感謝状 青少年健全育成部門(個人)	
つかだ たかひろ	塚田 崇博(和歌山市)
しおぎき まさゆき	塩崎 正幸(海南市)
なかい ふみお	中井富美夫(海南市)
いわもと よしのぶ	岩本 介伸(紀美野町)
たわ まさひろ	多和 正弘(紀の川市)
こさき さちよ	小崎 幸代(紀の川市)
みやもと よしき	宮本 芳城(紀の川市)
やました ちか	山下 智佳(紀の川市)
はだ よしかず	羽田 義一(橋本市)
みやにし てるお	宮西 照夫(美浜町)

知事感謝状 青少年健全育成部門(団体)	
特定非営利活動法人 情報セキュリティ研究所	

知事感謝状 青少年補導委員会部門(個人)	
まえはらく にひろ	前原久仁広(海南市)
さかもと のぼる	坂本 昇(九度山町)
よしだ としお	吉田 敏夫(御坊市)
やまもと かずこ	山本 和子(日高川町)
もりおか のりこ	森岡 典子(日高川町)
みやもと ひろゆき	宮本 弘之(田辺市)
つごし まさのり	津越 正紀(白浜町)

知事感謝状 善行少年部門(個人)	
うちた たく	内田 拓玖(かつらぎ町)

知事感謝状 善行少年部門(団体)	
KOKŌ 塾「まなびの郷」	

公益社団法人 和歌山県青少年 育成協会会長表彰(個人)	
にしたに まさこ	西谷 昌子(和歌山市)
あおたに まゆみ	青谷まゆみ(海南市)
たか で やすひろ	高出 泰宏(紀の川市)
のじり さちよ	野尻 幸世(岩出市)
たなべ かずお	田邊 和夫(岩出市)
てらお けいじ	寺尾 恵二(橋本市)
ふくつか あきたか	福塚 章高(橋本市)
いしだ せつこ	石田 節子(橋本市)

公益社団法人 和歌山県青少年 育成協会会長表彰(団体)	
ボーイスカウト那賀第5団	
一般社団法人ガールスカウト 和歌山県連盟第5団	

平成27年度 青少年育成協会 主要事業予定

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	和歌山県青少年育成指導者 関係研修会(白浜町)	通常総会	少年メッセ2015 和歌山県大会(紀美野町) 7・8月※	地域ユース・ジュニア リーダー養成研修(前期)			子ども・若者育成支援県民大会 (日高川町)			市町村民会議等代表者会議	地域ユース・ジュニアリーダー 養成研修(後期)
6～9月 家庭の日作品募集											
通年 リーダー活動支援事業・「家庭の日」啓発促進事業・リレー式次世代健全育成事業											

※夏の子どもをまもる運動

新規賛助会員さま (敬称略)

〈賛助会員〉 株式会社サウスコア 代表取締役 岩本 隆博 様
 株式会社ダイキョウ 代表取締役 慈幸 勝 様

本当にありがとうございます

会員の募集について

公益社団法人和歌山県青少年育成協会では、当協会の目的に賛同いただける会員の方を募集しております。ご協力いただきました会費は、青少年の健全育成・非行防止を目的とした各種事業に使わせて頂いております。



また、会員の皆様方には「やまびこ」など当協会作成の冊子等をお届けするほか、総会パンフレットなどに会社名やお名前を掲載させていただきます。詳しくは、当協会までお問い合わせ下さい。

会費は 正会員 個人 (年額) 2,000 円
 団体 (年額) 5,000 円
 賛助会員 (年額) 一口 10,000 円

青少年育成協会は、会員の皆様からいただいた会費によって運営されています。よろしくお願いいたします。

編集後記

昨年度も、皆様からの多くのご支援、ご協力をいただき、数々の事業を実施することができました。心から感謝申し上げます。事業を通じ、次代を担う子どもたちが、自然や様々な年代の方たちとたくさんふれあい、交流をすることで、価値観や何事においても好奇心、探求心がよりいっそう広がっていったらと願います。これからも皆様からのご意見、ご指導のほどよろしくお願いいたします。